令和5年度

環境経営レポート

対象期間 ： 令和 5 年4月～令和 6 年3月

発行年月日 ： 令和 6 年 5 月31日
（令和6年11月 5日 改訂）

Mioテクノロジー株式会社

目　　次　　ページ

１　事業概要＆認証登録範囲　1

２　環境経営方針　2

３　実施体制　3

４　環境経営目標　4

５　環境経営目標の実績　4

６　次年度の環境経営目標　5

７　環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容　6

8　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無　7

9　代表者による全体評価と見直し結果　8

10　環境活動の状況　9

11　環境上の緊急事態の対応に関する訓練　10

12　地域貢献活動　11

1　事業概要＆認証登録範囲

１　名称及び代表者名

Mioテクノロジー株式会社

代表取締役　　大和田　有悦

２　所在地

本社・工場　　宮城県気仙沼市松崎上赤田63番地3

松川工場　　宮城県気仙沼市松川383番地

ダイトー工場　　岩手県一関市大東町摺沢字沼田74

３　環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者　常務取締役工場長　伊東秀光　TEL：0226-23-7211

E-mail　ito@mio-tec.co.jp

担当者　藤田敦男　TEL：0226-23-7211

E-mail　fujita@mio-tec.co.jp

４　事業活動の内容

医療機器、情報機器、通信機器装置の製造

５　事業規模　令和4年度

資本金　　1000万円

製品出荷額（又は、販売額）　　4.0　　億円

項目	本社	松川工場	ダイトー工場
従業員	51名	0名	29名
延べ床面積	1744㎡	522㎡	1789㎡

６　認証登録範囲

本社・工場　宮城県気仙沼市松崎上赤田６３番地３

松川工場　　宮城県気仙沼市松川３８３番地

令和6年度　ダイトー工場　　岩手県一関市大東町摺沢字沼田74 を追加予定

７　事業経歴・営業範囲

事業経歴

平成１７年　３月　Ｍｉｏテクノロジー株式会社　創業

平成２３年　３月　東日本大震災により工場が壊滅

平成２３年１０月　気仙沼市松崎に工場移転

平成２４年　５月　気仙沼市松川に松川工場新設

平成２４年１２月　エコアクション２１認証取得

平成２７年　３月　ISO9001認証取得

令和　２年１２月　岩手県一関市にダイトー工場を開設

営業範囲

東北・関東・東海地区

環 境 経 営 方 針

<環境理念>

Mioテクノロジー株式会社は、プリント基板及び電子機器製品の製造工場として、お客様に満足していただける、ものづくりをするために品質、納期、コストの管理、技術力を磨き、お客様の信頼と満足度を高めます。

また、地球環境の保全が重要課題と認識し、活動によって生じる地球環境への負荷を減らすよう行動する事により地球にやさしい企業を目指す。

<環境保全への行動指針>

Mioテクノロジー株式会社の社員一人一人は「この美しい海と川、山の緑、そして澄んだ青空を守り続けます」をスローガンに掲げ、次の世代へ引き継いでいく事が基本的責務との認識にたって行動する。

1、社内における二酸化炭素・廃棄物排出量の削減に積極的に取り組み継続的な改善と環境汚染の予防に努める。

2、環境保全活動を通し、経費節減を実現する。

・電気代の節約（節電）

・廃棄物処理代の節約（リサイクルの推進）

3、国や地方自治体が定める環境関連法規制、並びに当社が同意したその他の要求事項を順守する。

4、全員に環境教育等を実施し、環境経営方針の理解と環境保全に対する意識向上に努める。

5、私たちの生活の持続性と生物多様性との関わりを理解し、積極的かつ自発的に自然との共生のた めに行動する。

6、地域の文化や慣習を尊重し、社会貢献活動(工場見学、インターンシップの受け入れ)に積極的に取り組む。

改訂日：令和6年5月1日

改訂日：令和4年12月1日

改訂日：平成30年12月1日

改訂日：平成30年5月1日

制定日：平成24年5月1日

Mioテクノロジー株式会社

代表取締役

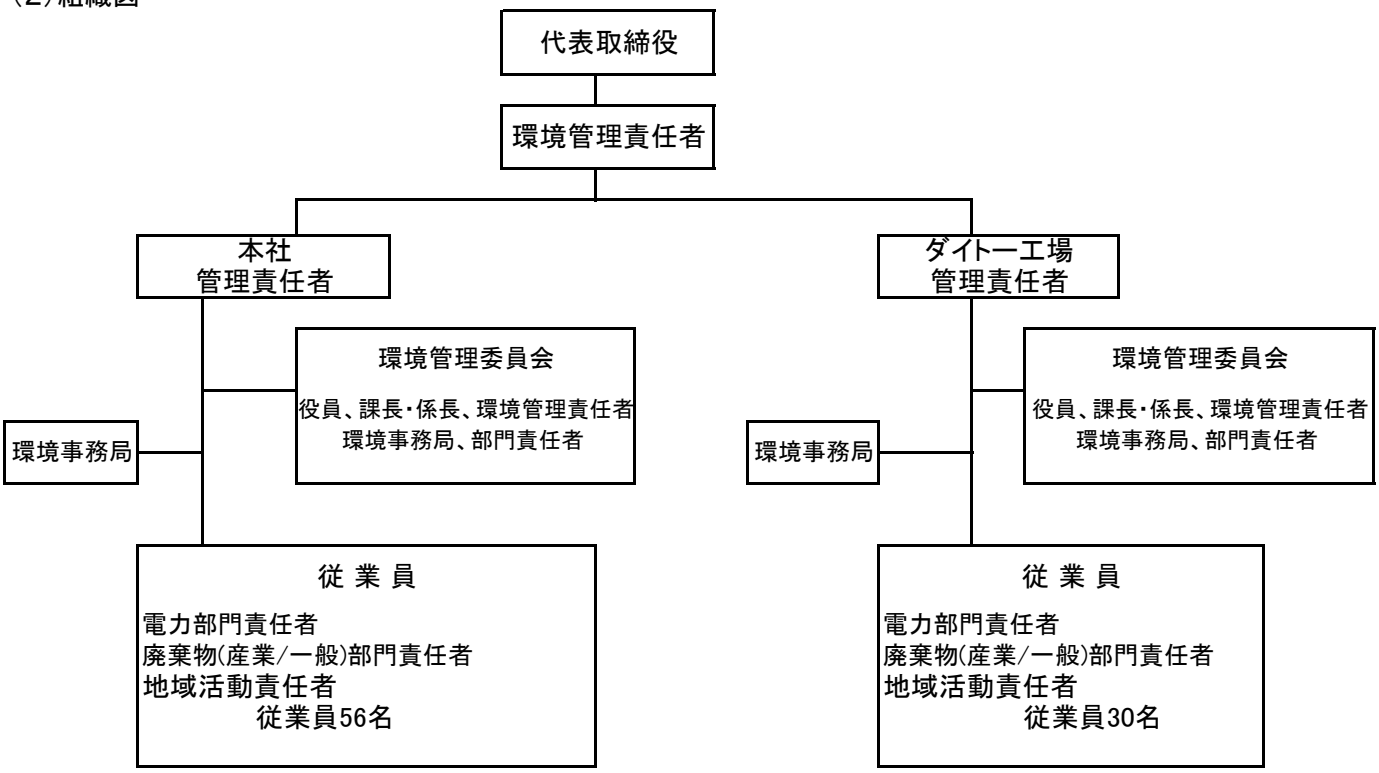
大和田　有悦

3 実施体制

（1）認証登録範囲

本社工場,松川工場,ダイトー工場(令和6年追加予定)

（2）組織図



（3）環境経営システム　役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・環境管理責任者を任命。
	・環境方針策定、目標・活動計画の承認。
	・代表者による全体の評価と見直しを実施。
	・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。
	・実施体制を構築し全従業員へ周知する。
環境管理委員会	・委員長は代表取締役とし、環境管理責任者が召集する。
	・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。
	・内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合が有る場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。
	・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
	・新規の材料を製品に使用する際は、「富士通グループの指定化学物質リスト」で禁止化学物質が含まれていない事を確認し、使用の承認をする。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
	・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
部門責任者	・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・従業員に対する教育訓練の実施
全社員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境経営目標

当社では、令和2年度を基準年度として中期環境経営目標を設定致しました。

項目		基準年度	環境経営目標		
		令和2年度(2020年)	令和3年度(2021年)	令和4年度(2022年)	令和5年度(2023年)
二酸化炭素排出量	売上高(万円)に対する電力料金(円)比率削減	218,367kWh	216,183Kwh	214,000Kwh	211,816Kwh
		119,665kg-CO_2	118,468KgCo2	117,272KgCo2	116,075KgCo2
		2.117%	2.096%	2.075%	2.053%
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減		用途は、決められた客先への納品業務の為、燃費データ管理とする。		
廃棄物排出量	売上高(万円)に対する産業廃棄物処理費用(円)比率削減	2,620kg	2,594Kg	2,568Kg	2,541Kg
		0.075%	0.0743%	0.0735%	0.0728%
	一般廃棄物の削減	排出量が少量の為管理項目とし、データ管理とする。			
総排水量(水資源投入量)		用途が生活排水ため(30l/日・人)、節水徹底にてデータ管理とする。			
製品・サービスに関する取組		品質管理部門での活動			
不良率の低減					
地域貢献	工場見学	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	インターンシップの受け入れ	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	地域清掃	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年

※電気事業者別二酸化炭素排出係数：ﾃﾌﾟｺｶｽﾀﾏｰｻｰﾋﾞｽ(株)(令和1年　調整後排出係数　0.533kg-CO_2/kWh)

5 環境経営目標の実績及び評価

項目		令和5年度目標	令和5年度実績	達成率(%)	環境目標の達成状況	評価
二酸化炭素排出量	電力料金(万円)比率(売上高(万円)比)削減	2.054%	2.619%	78%	未達成	基準年の2021年は新型コロナの影響で仕事量が激減した時期で、2023年は新型コロナの影響もなくなり仕事量が大幅に改善されました。その点が未達成の大きな要因となっている。
廃棄物排出量の低減	産業廃棄物処理費(万円)比率(売上高(万円)比)削減	0.0728%	0.075%	97%	未達成	社内として対応できる活動は実施できている。仕事の内容に寄っての変動が大きい。
不良率の低減	納品品質(不良件数)	24件/年	45件	53.3%	未達成	手作業領域での不具合流出が目立つ。規格の厳しい客先に対して重点的に取り組む。
地域貢献	工場見学	1回/年	1回	2022年7月	達成	次年度も達成できるよう取組む。
	インターンシップの受け入れ	1回/年	1回	2023年7月	達成	
	地域清掃	1回/年	1回	202/8/26	達成	

※電気事業者別二酸化炭素排出係数：ﾃﾌﾟｺｶｽﾀﾏｰｻｰﾋﾞｽ(株)(令和1年　調整後排出係数　0.533kg-CO_2/kWh)

主な環境負荷等の実績

項目		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	電力(本社)	kg-CO_2/年	112,820	128,187	137,259
	電力(松川)	kg-CO_2/年	2,681	3,449	3,083
	ガソリン	kg-CO_2/年	2,409	2,331	2,402
	軽油	kg-CO_2/年	10,985	12,395	15,170
	灯油	kg-CO_2/年	1,230	2,601	2,042
	合計(エネルギー)	kg-CO_2/年	130,125	148,963	159,956
産業廃棄物排出量		kg／年	3,430	4,230	4,240
一般廃棄物排出量		kg／年	310	410	350
総排水量(水資源投入量)		㎥／年	415	537	537
半田使用量(無鉛棒半田)		kg／年	720	976	1,177
半田使用量(共晶棒半田)		kg／年	72	148	71

6 次年度の環境経営目標

項目		環境経営目標		
		令和6年度(2024年)	令和7年度(2025年)	令和8年度(2026年)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	402,838Kwh	398,769Kwh	394,700Kwh
		215,730KgCo2	213,551KgCo2	211,372KgCo2
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	用途は、決められた客先への納品業務の為、燃費データ管理とする。		
廃棄物排出量	廃棄物排出量の削減	4,937Kg	4,887Kg	4,837Kg
	一般廃棄物の削減	排出量が少量の為管理項目とし、データ管理とする。		
総排水量(水資源投入量)		用途が生活排水ため(30l/日・人)、節水徹底にてデータ管理とする。		
製品・サービスに関する取組		品質管理部門での活動		
不良率の低減				
地域貢献	工場見学	1回/年	1回/年	1回/年
	インターンシップの受け入れ(本社)	1回/年	1回/年	1回/年
	地域清掃	2回/年	2回/年	2回/年

【本社】

項目		環境経営目標		
		令和6年度(2024年)	令和7年度(2025年)	令和8年度(2026年)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	234,198Kwh	231,833Kwh	229,467Kwh
		125,845KgCo2	124,574KgCo2	123,303KgCo2
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	用途は、決められた客先への納品業務の為、燃費データ管理とする。		
廃棄物排出量	廃棄物排出量の削減	3,927Kg	3,888Kg	3,848Kg
	一般廃棄物の削減	排出量が少量の為管理項目とし、データ管理とする。		
総排水量(水資源投入量)		用途が生活排水ため(30l/日・人)、節水徹底にてデータ管理とする。		
製品・サービスに関する取組		品質管理部門での活動		
不良率の低減				
地域貢献	インターンシップの受け入れ	1回/年	1回/年	1回/年
	地域清掃	1回/年	1回/年	1回/年

【ダイトー工場】

項目		環境経営目標		
		令和6年度(2024年)	令和7年度(2025年)	令和8年度(2026年)
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量の削減	168,640Kwh	166,936Kwh	165,233Kwh
		89,885KgCo2	88,977KgCo2	88,069KgCo2
	ガソリン・軽油等の二酸化炭素の削減	用途は、決められた客先への納品業務の為、燃費データ管理とする。		
廃棄物排出量	廃棄物排出量の削減	1,010Kg	1,000Kg	989Kg
	一般廃棄物の削減	排出量が少量の為管理項目とし、データ管理とする。		
総排水量(水資源投入量)		用途が生活排水ため(30l/日・人)、節水徹底にてデータ管理とする。		
製品・サービスに関する取組		品質管理部門での活動		
不良率の低減				
地域貢献	工場見学	1回/年	1回/年	1回/年
	地域清掃	1回/年	1回/年	1回/年

7 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5　主な環境経営活動計画の内容と取組結果

項目		環境経営活動計画	実施状況の評価	評価
二酸化炭素排出量の抑制	節電	工場内の天井照明をLED化し消費電力を下げる。	LED化の対応は終了した。	○
		電気代削減を目的に新しい電力会社を探しながら、現電力会社との価格交渉も行う。	昨今の電力会社の動向では、安易に変更することは良くない状況なので活動していない状況でした。	×
廃棄物の排出抑制	産業般廃棄物	ICトレイの回収 排出物の分別	活動継続中	○
	一般廃棄物	排出物の分別	活動継続中	○

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

（1）二酸化炭素排出量の削減

評価方法を見直し改善に取り組む

（2）廃棄物の排出削減

評価方法を見直し改善に取り組む

（3）節水（排水対策）

管理項目として対応

（4）不良率低減

品質管理部門で活動

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

法規・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	評価
フロン排出抑制法	業務用エアコン、1回/Q簡易点検の義務	簡易点検記録(3か月１回以上)の確認	○
	廃棄等実施者の引渡義務	今期は廃棄実績ありませんでした。	○
	点検記録簿の保存期間	点検記録簿を機器廃棄してから3年間保存	○
水質汚濁防止法	公共用水域への流出	外置き灯油タンク流出実績なし	○
浄化槽法	保守点検・清掃 （年一回）	記録確認 （3年間保管）	○
	定期検査 （年一回） 指定検査機関の行う水質に関する検査	検査記録確認 (3年間保管)	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	産業廃棄物保管基準の遵守	産業廃棄物保管場所表示確認	○
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約契約書の締結済	○
	マニュフェストの管理	マニフェストの交付、5年保管	○
	マニフェスト交付状況の報告	2022年6月に報告書提出済	○
	委託先の実地確認と記録の保存	優良事業者確認	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物を排出する場合は、再商品化等が確実に実施出来るように適切に引き渡す。)・特定家庭用機器：TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコン	TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコン等の破棄・パソコンのリサイクル化	○
グリーン購入法	物品を購入は、できる限り環境物品等を選択する	文房具・環境配慮製品	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等（PRTR法）	PRTR制度(第一種指定化学物質)	使用量1t/年未満にて対象外	○
消防法	指定数量以上の危険物は、貯蔵所以外で取り扱ってはならない	灯油、アルコール等指定数量以下	○
	消火器類の点検を6ヵ月に1回以上行う	消火器使用期限の確認	○
労働安全衛生法	安全衛生教育 (雇用時・危険又は有害な業務従事者)	安全・衛生教育 (特別の教育)	○
	健康診断の実施	健康診断(10月頃実施)	○
有機溶剤中毒予防規則	作業主任者選任	使用量適用要件以下であるが選任掲示	○
	作業注意事項、区分掲示	使用量適用要件以下であるが掲示	○
気仙沼・本吉地域広域行政事務組合火災予防条例	少量危険物（指定数量1/5以上1未満）、指定可燃物の届出	指定数量以下にて保管(届出不要)	○

９　代表者による全体評価と見直しの結果

１．環境経営方針

特になし

２．環境経営目標

評価　　１，電力

・コロナ渦からの回復に伴い売上が上がってきたが、それ以上に電気料の大幅な高騰により達成が出来なかった。

２，廃棄物

・新たな得意先と新規の仕事に伴う支給品から発生する廃棄物により達成出来なかった。

改善及び指示

電力に関して現状の電気代を基準とした目標を使用量に変更して改善活動を進めること。また、廃棄物に関しては、改善活動の評価が出来る目標にすること。

３．環境活動計画及び環境経営システム

新たな目標に合った計画の見直しを行うこと。

４．実施体制

令和6年ダイトー工場追加予定

４．その他（法規制）

特になし

全体評価

電力目標について、過去に冬期の電気代対策として新電力を選択し一定の効果を出して来たが、今回、前期の2倍の金額となる条件に変更されてしまった。
また、新たな受注に対応する設備を設置することにより使用電力が大幅に上昇する結果と成った。
廃棄物についても得意先からの支給部品から発生する物がほとんどで改善が困難である事が分かった。
何れも当社として対応が困難な事で今後については、現状を踏まえた新たな目標を設定し改善活動を進めること。

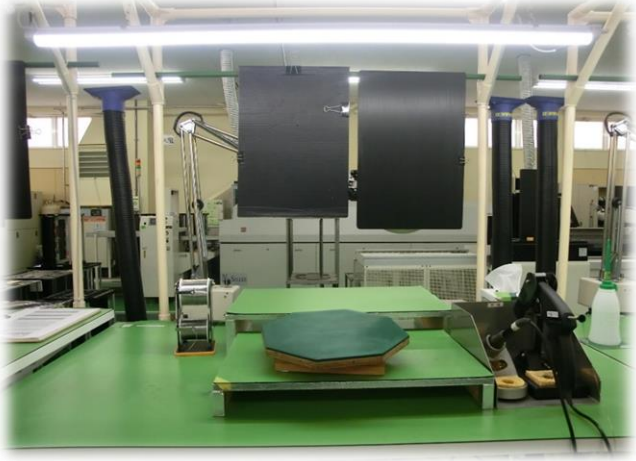
代表取締役　　**大和田　有悦**

環境活動の状況

【省エネ】

夏用作業着としてTシャツタイプを導入

蛍光灯のLED化（作業机）



夏時期
コンプレッサーの熱を外に排気し冷房効果を
高める。

冬時期
コンプレッサーの熱を室内に利用し暖房効果を
高める。

【環境教育】

2023年6月19日(月) AM8:25～AM8:40

2023年4月25日(火) 避難・初期消火訓練 (AM11:30～11:50)

火災を広げない為に下記の事を注意し訓練を行いました。

1. 避難時避難出口のドアは閉めて避難する。
2. 排煙窓は開けないで避難する。

＊消火器の特性

・距離は3～5m　噴出する
・12秒間噴出する　短いようだが十分な時間です
・レバー付近にメーターが付いているタイプはレバーを離すと止まる(古いタイプ)
・メーターなしのタイプは、レバーを離しても、最後まで噴出する

＊消防署から

訓練なので、火も煙も熱も無いので実際の状況とは全く違います。
実際は煙で視界が悪いし、熱で熱い　それを覚えておくことその上で
初期消火班については、距離が近い位置で対応していました、実際は熱で近付けません。
避難についても、煙がでるので視界が悪くなります。
消防設備があるので、その装置を使っての訓練もよいと思います。
通報は固定電話でしていましたが、実際は逃げながら携帯電話等で対応してください。
☆天井まで炎が上がっている様な状況では、消火器では手に負えません。
　避難することを優先してください。 命を守ってください

【地域貢献】

インターンシップの受け入れ

2018年7月	2名		2022年7月	3名
2019年7月	5名		2023年7月	3名
2020年 コロナの影響で中止				
2021年7月	3名			

2023年8月26日(土) 環境ボランティア活動(地域清掃)

(AM10:00～AM11:00)

工場・面瀬川周辺のごみ拾いを行いました。